

救急科専門医研修プログラム

『茨城県内連携次世代型救急科専門医 養成プログラム 2021年版』



- 基幹施設：筑波大学附属病院高度救命救急センター
連携施設：日立総合病院救急総合診療科
国立病院機構水戸医療センター救命救急センター
水戸済生会総合病院救命救急センター
茨城県厚生農業協同組合連合会土浦協同病院救急集中治療科
筑波メディカルセンター病院救命救急センター
茨城西南医療センター病院
茨城県立中央病院救急センター
茨城県西部メディカルセンター救急科
茨城県厚生農業協同組合連合会なめがた地域総合病院救急科
東京医科大学茨城医療センター総合救急センター
医療法人社団常仁会 牛久愛和総合病院
- 関連施設：常陸大宮済生会病院
日立製作所ひたちなか総合病院

1. 茨城県内連携次世代型救急科専門医養成プログラムについて

A. 本プログラムの理念と使命

救急専門医とは、救急科専門医は、病気、けが、やけどや中毒などによる急病の方を診療科に関係なく診療し、特に重症な場合に救命救急処置、集中治療を行うことを専門とします。また、病気やけがの種類、治療の経過に応じて、適切な診療科と連携して診療に当たり、オーガナイザーとしての役割が求められます。更に、救急医療の知識と技能を生かし、救急医療制度、メディカルコントロール体制や災害医療に指導的立場を発揮します。従って、救急医は極めて社会との結びつきが強く、多職種・複数診療科で構成されるチーム医療の要として、リーダーシップを発揮し、教育指導者としての役割も期待される医師です。

今日、救急医に求められる知識・技能は年々増加し、ER診療、外傷診療、ドクターカー・ドクターヘリなどに代表されるプレホスピタルケア、集中治療、Rapid response teamなどの院内急変時対応、心肺蘇生法などの多職種・複数診療科医師、更には一般市民にむけた教育、災害対応など、多種多様化しています。救急医療は社会に最も密接で、人々に最も身近な医学です。社会が変われば、医療が変わるため、救急医は時代と場所と社会のニーズに合わせて今後もますます変化を求められます。

本プログラムの目的は、今後高度多様化する救急医療のニーズに対して、**バランスよく、求められるミッションをどこに行っても実施できる、国際感覚とリサーチマインドに優れた次世代型救急医を養成することです。**

B. 本研修プログラムで得られること

本研修プログラムを研修することにより、下記に示すような次世代型救急医に求められる多様な能力を備えることができます。

- ① 疾病、外因性疾患に係わらず、緊急度の高い救急患者に適切な初期診療と必要な集中治療を実施できる。
- ② 常に vital sign を意識して、病態に応じて治療優先度を適切に評価でき、複数患者の対応においても、治療優先順位を適切に判断できる。
- ③ 適切な診療科を判断し、良好なコミュニケーションにより、適切な専門医診療を推進できる。
- ④ ドクターカー、ドクターヘリなど病院前救護を適切に実施できる。
- ⑤ 地域救急医療体制を考慮した適切なメディカルコントロールを実施できる。



- ⑥ 常時より災害対策・トリアージを意識し、災害時において指導的立場を発揮し、適切な災害医療を展開できる。
- ⑦ 救急外来、集中治療を科学する眼を持ち、将来の救急医学に貢献する研究を実行できる。
- ⑧ 救急医療における多職種によるチーム医療の中心となってリーダーシップを発揮し、良好なコミュニケーションと相互教育体制をもてる。
- ⑨ 救急患者の受け入れや診療に際して、倫理的配慮を考慮できる。
- ⑩ 救急患者や救急診療に従事する医療者の安全を確保できる。

2. 救急科専門研修の実際

A. 内容

(1) On the job training (On-JT)

茨城県内の指導医が各施設に及び施設間連携をはかることにより、病院内、病院前、メディカルコントロールの現場において多種多様な臨床経験を提供します。

- ⑤ 救急外来、緊急手術における OJT
- ⑥ 日々の申し送り・カンファレンスにおけるプレゼンテーション
- ⑦ 関連診療科や多職種カンファレンス、県内施設間カンファレンスにおけるプレゼンテーション
- ⑧ 抄読会、研究会におけるプレゼンテーション
- ⑨ 人工呼吸器、血液浄化装置など医療機器の OJT



(2) Off the job training (Off-JT)

- ④ シミュレーションを用いた心肺蘇生、外傷初期診療などの知識・技能習得
- ⑤ 国内外標準的診療コースの受講（AHA/ACLS、ICLS、JATEC、JPTEC、MIMMS など）とインストラクター資格の獲得
- ⑥ 関連主要学会の参加とプレゼンテーション（日本救急医学会、日本集中治療医学会、日本外傷学会、など）
院内感染、医療安全講習会への参加



(3) Self learning

専門研修期間中の特殊疾患や稀な処置などの経験値の不足を補うために、日本救急医学会・関連学会が開催するハンズオンセミナー、e-Learning の参加

B.本研修プログラムの運用について

本専門研修プログラムは、各専攻医の希望を考慮し、個々の基本モジュールの内容を吟味し、茨城県内基幹施設・連携施設をバランスよく組み合わせ、専門医研修に必要なかつ、今後の救急医療の展開に必要な知識・技能をいずれのコースにおいても平均的に経験できるようにプログラムされている。また、基幹施設・関連施設のいずれから開始しても十分対応できるように設定されています。

加えて、本専門研修プログラムによる救急科専門医取得後には、サブスペシャリティ領域である集中治療や外傷、熱傷、などの専門領域の専門医取得に向けた足がかりにもなるように設定されています。更には、救急領域に関連した各種臨床研究・公衆衛生研究を経験することにより、筑波大学において医学博士号取得も可能です。つまり、本プログラムを修了することにより、将来のサブスペシャリティ領域専門医の獲得が可能である他、医学博士取得が可能であり、次世代を担う救急医を育成するプログラムとなっています。

- (1) 研修期間:原則的に3年間
- (2) 出産・疾病罹患などの事情による研修期間についてのルールは『項目 18.救急科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件』を参照。
- (3) 研修施設群:本プログラムは、日本救急医学会が示す『研修施設要件』を満たした茨城県内救命救急センター及び救急病院が連携して行う。
- (4) 茨城県内において基幹病院となる筑波メディカルセンター病院のプログラムにて研修が可能である。

	施設名	専攻医指導医数
基幹施設	筑波大学附属病院高度救命救急センター	7
	日立総合病院救急総合診療科	3
救命センター群	国立病院機構水戸医療センター救命救急センター	5
	水戸済生会総合病院救命救急センター	4
	筑波メディカルセンター病院	4
	茨城県厚生農業協同組合連合会土浦協同病院救急集中治療科	2
	茨城西南医療センター病院	1
	茨城県立中央病院救急センター	1
地域中核病院群	東京医科大学茨城医療センター総合救急センター	1
	茨城県厚生農業協同組合連合会なめがた地域総合病院救急科	1
	茨城県西部メディカルセンター	2
	医療法人社団常仁会 牛久愛和総合病院	2
関連施設群	常陸大宮済生会総合病院	0
	日立製作所ひたちなか総合病院	0
	専攻医指導医総数	33

施設名 筑波大学附属病院高度救命救急センター

基幹研修施設



救急医学は、患者にとって最も身近で、社会に密接した医療、つまり医の原点です。今日救急医に求められるニーズは高度多様化し、ER/総合診療、外傷外科、集中治療、災害医療、病院前診療、医療安全教育など、社会の変化と共にそのニーズは増加する一方です。筑波大学では、総合大学病院の利点を生かし、チーム医療として、各専門診療科・多職種が連携した高度救急医療・集中治療を展開しています。また、茨城県内の各救急医療機関と密に連携し、重症症例の集約化と地域医療連携を密にしており、様々な地域特性をもつ救急医療を経験していただけます。ICUはclosed化して、各診療科と連携しながら、重症症例の管理を統括して管理しています。2019年より防災ヘリを用いたビッグアップ型ドクターヘリも導入されます。更には、次世代に繋がる救急医療として、ER/ICUを科学する眼を養うように、研究サポートも行っています。
(筑波大学附属病院高度救命救急センター 井上貴昭)

1	救急科領域における病院機能	高度救命救急センター、日本救急医学会指導医施設、専門医施設、3次救急医療機関、災害拠点病院、原子力災害拠点病院、日本集中治療学会専門施設、日本熱傷学会熱傷専門医施設																												
2	指導者	井上 貴昭、丸島 愛樹、榎本 有希、小山 泰明、松本 佑啓、星野 哲也、鈴木 貴明、坂本 彩香																												
3	救急車搬送件数	4000台/年																												
4	救急外来患者総数	11000名/年																												
5	研修部門	救急外来、ICU、HCU																												
6	研修領域	① 重症集中治療 ② 心肺蘇生 ③ ショック ④ 外傷初期診療 ⑤ 重症患者に対する救急処置 ⑥ 災害医療 ⑦ 救急・集中治療における研究 ⑧ 救急におけるチーム医療																												
7	研修内容	救急患者外来対応、重症集中治療、院内rapid response team、臨床・基礎研究、																												
8	研修の管理体制	救急科領域専門研修管理委員会による																												
9	給与	基本給:日給C(チーフ):13500円・CF(クリニカルフェロー):14000円×勤務日数、医員手当:15000円ほか																												
10	身分	シニアレジデント～チーフレジデント																												
11	勤務時間	8:00-18:30、Closed ICU体制による別途夜勤シフトあり																												
12	社会保険	労働保険、健康保険、厚生年金保険、雇用保険を適用																												
13	宿舎	あり(110室、使用料:10000～30000円)																												
14	専攻医室	あり																												
15	健康管理	年2回、その他予防接種																												
16	医師賠償責任保険	任意加入																												
17	Off-JT	日本救急医学会総会及び関東地方会、日本臨床救急医学会、日本集中治療医学会など、各種関連諸学会における学術発表及び誌上発表を指導																												
18	週間スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土/日/祝祭日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AM</td> <td>8:00 Closed ICU申し送り 9:00病棟ラウンド 10:00～病棟処置/救急外来対応</td> <td>8:00 Closed ICU申し送り 9:00病棟ラウンド 10:00～病棟処置/救急外来対応</td> <td>8:00 Closed ICU申し送り 9:00病棟ラウンド 10:00～病棟処置/救急外来対応</td> <td>8:00 Closed ICU申し送り 9:00病棟ラウンド 10:00～病棟処置/救急外来対応</td> <td>8:00 Closed ICU申し送り 9:00病棟ラウンド 10:00～病棟処置/救急外来対応</td> <td>シフトによる日直・当直制</td> </tr> <tr> <td>PM</td> <td></td> <td>12:30 病院総合内科カンファレンス 14:00 リエゾンカンファレンス</td> <td>13:30 抄読会 14:00 医局会 15:00 RCTラウンド 16:00 ICU申し送り</td> <td></td> <td>16:00 ICU・HCU・病棟総カンファレンス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>当直</td> <td>16:00 ICU申し送り</td> <td>16:00 ICU申し送り</td> <td></td> <td>16:00 ICU申し送り</td> <td></td> <td>曜日固定シフトによる当直・オンコール</td> </tr> </tbody> </table>		月	火	水	木	金	土/日/祝祭日	AM	8:00 Closed ICU申し送り 9:00病棟ラウンド 10:00～病棟処置/救急外来対応	8:00 Closed ICU申し送り 9:00病棟ラウンド 10:00～病棟処置/救急外来対応	8:00 Closed ICU申し送り 9:00病棟ラウンド 10:00～病棟処置/救急外来対応	8:00 Closed ICU申し送り 9:00病棟ラウンド 10:00～病棟処置/救急外来対応	8:00 Closed ICU申し送り 9:00病棟ラウンド 10:00～病棟処置/救急外来対応	シフトによる日直・当直制	PM		12:30 病院総合内科カンファレンス 14:00 リエゾンカンファレンス	13:30 抄読会 14:00 医局会 15:00 RCTラウンド 16:00 ICU申し送り		16:00 ICU・HCU・病棟総カンファレンス		当直	16:00 ICU申し送り	16:00 ICU申し送り		16:00 ICU申し送り		曜日固定シフトによる当直・オンコール
	月	火	水	木	金	土/日/祝祭日																								
AM	8:00 Closed ICU申し送り 9:00病棟ラウンド 10:00～病棟処置/救急外来対応	8:00 Closed ICU申し送り 9:00病棟ラウンド 10:00～病棟処置/救急外来対応	8:00 Closed ICU申し送り 9:00病棟ラウンド 10:00～病棟処置/救急外来対応	8:00 Closed ICU申し送り 9:00病棟ラウンド 10:00～病棟処置/救急外来対応	8:00 Closed ICU申し送り 9:00病棟ラウンド 10:00～病棟処置/救急外来対応	シフトによる日直・当直制																								
PM		12:30 病院総合内科カンファレンス 14:00 リエゾンカンファレンス	13:30 抄読会 14:00 医局会 15:00 RCTラウンド 16:00 ICU申し送り		16:00 ICU・HCU・病棟総カンファレンス																									
当直	16:00 ICU申し送り	16:00 ICU申し送り		16:00 ICU申し送り		曜日固定シフトによる当直・オンコール																								

施設名:株式会社日立製作所日立総合病院

連携研修施設



指導医からのコメント

当院は、人口30万人の茨城県北部の医療圏の中で最大規模の地域中核病院です。「地域住民に信頼される、良質な医療の提供」をモットーとして、急性期疾患、悪性腫瘍、難病、救急医療を中心に医療活動をしています。当院の救急医療は、第三次救急体制として救命救急センターが整備され、年間の急搬送台数約5,920台、休日夜間患者数約18,266人の実績となっております。他の施設と比較にならないほど豊富な幅広い症例の経験が可能です。より良い研修成果を上げられる環境を整えて皆様をお待ちしています。(センター長 中村健介)

1	救急科領域における病院機能	3次救急医療機関、日本救急医学会救急科専門医指定施設、地域災害医療センター						
2	指導者	中村 健介						
3	救急車搬送件数	5,920台 (2015年実績)						
4	救急外来患者総数	18,266人 (2015年実績)						
5	研修部門	救急科、総合診療科、集中治療科、総合内科						
6	研修領域	①重症集中治療	②心肺蘇生	③ショック				
		④外傷初期診療	⑤重症患者に対する救急処置	⑥災害医療				
		⑦救急・集中治療における研究	⑧救急におけるチーム医療					
7	研修内容	救急患者外来対応、重症集中治療						
8	研修の管理体制							
9	給与	月額手当: 1年次 530,000円, 2年次 538,000円, 3年次 546,000円 (月額表示額は、45時間相当の時間外手当を含み時間外時間が45時間未満の場合も支給。時間外時間が45時間を超えた場合は、超過時間外手当を別途支給) 諸手当: 宿日直手当、呼出手当 超過時間外手当 深夜手当 等						
10	身分	常勤嘱託						
11	勤務時間	8:15~16:30						
12	社会保険	日立製作所健康保険組合、厚生年金保険、労災保険、雇用保険						
13	宿舎	有(有料) [賃貸住宅契約者は、住宅手当支給制度有り]						
14	専攻医室	有り						
15	健康管理	定期健康診断(1回/年)、特殊健康診断(2回/年)						
16	医師賠償責任保険	病院として加入。専攻医が個人で加入する場合は自己負担。						
17	Off-JT	(案) 日本救急医学会総会及び関東地方会、日本臨床救急医学会、日本集中治療医学会など、各種関連諸学会における学術発表及び誌上発表を指導						
18	週間スケジュール	月	火	水	木	金	土/日/祝祭日	
	AM	ERカンファレンス ICUカンファレンス ICU回診	ERカンファレンス ICUカンファレンス ICU回診	ERカンファレンス ICUカンファレンス ICU回診	ERカンファレンス ICUカンファレンス ICU回診	ERカンファレンス ICUカンファレンス ICU回診	ERカンファレンス ICUカンファレンス ICU回診	
	PM			ERレクチャー(1h)		ICUレクチャー(1h)		
	当直							

施設名 水戸済生会総合病院 救命救急センター

連携研修施設



本邦における救命救急医療の歴史はまだ比較的浅いものの、近年における救急医療ニーズは多様化し、従来の病院内診療に留まらず、病院前診療の必要性も高まっている。当院ではER診療やICUにおける集中治療、院内急変対応などの院内救急診療はもちろん、水戸市と業務提携したドクターカーおよび茨城県ドクターヘリを運航し、病院前救急診療を開始可能にするデバイスを複数有している。病院前から診療を開始し、ER診療、集中治療まで一貫して行うことによって、1傷病者に対する診療を完遂することができる体制となっている。特殊救急診療や単独臓器疾患、一般外傷は自己完結、多臓器疾患や重症多発外傷では、各診療科と連携をとり、救急医として診療チームの指揮命令系統を確立する使命を経験しながら診療にあたることによって自らの救急診療を再度振り返ることができ、日常診療をより濃密なものにすることができる。以上のような診療体制の中で、救急医としての視点やスキルを磨き、最も社会と密接かつ直接に関わる救急医療を担うことのできる一救急医をぜひ我々とともに目指してほしい。

1	救急科領域における病院機能	救命救急センター、災害拠点病院、DMAT指定医療機関、救急科専門施設、日本集中治療学会専門施設、日本航空医療学会認定施設					
2	指導者	須田 高之					
3	救急車搬送件数	3,062件（平成26年度）					
4	救急外来患者総数	9,436件（平成26年度）					
5	研修部門	救急外来、集中治療室、病院前診療					
6	研修領域	①病院前救急診療 ②重症集中治療 ③心肺蘇生 ④ショック ⑤外傷初期診療 ⑥ER診療 ⑦災害医療 ⑧救急におけるチーム医療					
7	研修内容	病院前救急医療、救急患者外来対応、重症集中治療、院内rapid response team					
8	研修の管理体制	研修センター設置予定					
9	給与	月額 700,400円					
10	身分	水戸済生会総合病院 救急科 医員					
11	勤務時間	8:30～17:00、別途当直業務あり、当直明け帰宅可能					
12	社会保険	労働保険、健康保険、厚生年金保険、雇用保険を適用					
13	宿舎	あり					
14	専攻医室	医局内に個人デスクを設置					
15	健康管理	年2回、その他予防接種					
16	医師賠償責任保険	任意加入					
17	Off-JT	日本救急医学会総会及び関東地方会、日本臨床救急医学会、日本集中治療医学会、日本航空医療学会、日本外傷学会、各種関連諸学会における学術発表及び誌上発表を指導 ICLS、BLS、ACLS、PALS、ITLS、JPTEC、JATEC、MCLS、MCLS-CBRNE各コースへの参加、指導					
18	週間スケジュール	月 火 水 木 金/土 日/祝祭日					
	AM	8:30 申し送り・ICU・一般病棟ラウンド・救急外来対応・病院前診療(ドクターカー)・ICU管理	8:30 申し送り・ICU・一般病棟ラウンド・救急外来対応・病院前診療(ドクターカー)・ICU管理	8:30 申し送り・ICU・一般病棟ラウンド・救急外来対応・病院前診療(ドクターカー、ドクターヘリ)・ICU管理	8:30 申し送り・ICU・一般病棟ラウンド・救急外来対応・病院前診療(ドクターカー、ドクターヘリ)・ICU管理	8:30 申し送り・ICU・一般病棟ラウンド・救急外来対応・病院前診療(ドクターカー)・ICU管理	
	PM	16:30 夕回診・申送り	16:30 夕回診・申送り	16:30 夕回診・申送り	16:30 夕回診・申送り	16:30 夕回診・申送り	16:30 夕回診・申送り
	当直	ERもしくはICU当直(当番日のみ)					

施設名: 国立病院機構水戸医療センター

連携研修施設



指導医からのコメント:
 当院救命救急センターは昭和56年4月に、国の認可を受けて以来、約30年間にわたり地域の救急医療に従事してきました。この間、各地の大学救急部から、外科研修を目的とした救急医を多数受け入れ、その先生方とともに救命救急センターを運営し、重傷外傷・腹部救急疾患・循環器疾患・脳血管疾患など、ありとあらゆる救急疾患に対応してきました。さらに平成22年7月より茨城県ドクターヘリの基地病院に任命されたのに伴い、独立した救急科を設立し、さらに救急医療に力を入れています。平成23年の東日本大震災では、県中央地区で唯一、100名以上の患者さんをうけ入れ、治療にあたりました。平成25年11月には、茨城県基幹災害拠点病院の指定を受け、平成27年現在、日本DMAT隊員14名(うち統括DMAT3名)を擁し、災害医療の中心的役割を担っています。医師・看護師・放射線技師・検査技師・医療機器を整備する臨床工学技師・ケースワーカー・栄養士・機材および環境整備の事務職員など、病院の全総力を結集し、患者さんを支えるためのチーム医療を目指しています。(水戸医療センター 救命救急センター長 安田 貢)

1	救急科領域における病院機能	3次救急医療機関、救急科専門施設、基幹災害拠点病院、日本航空医療学会指定施設、原子力災害拠点病院					
2	指導者	安田 貢					
3	救急車搬送件数	2833台/年					
4	救急外来患者総数	6238人/年					
5	研修部門	救急外来、救命救急センター、ICU、HCU					
6	研修領域	①重症集中治療	②心肺蘇生	③ショック			
		④外傷初期診療	⑤重症患者に対する救急処置	⑥災害医療			
		⑦救急・集中治療における研究	⑧救急におけるチーム医療	⑨病院前救急医療			
7	研修内容	救急患者外来対応、重症集中治療、臨床研究、病院前救急医療(ドクターカー・ドクターヘリ)					
8	研修の管理体制	救急科領域専門研修管理委員会による					
9	給与	基本給 523,136円(1年目) 569,835円(2年目)、宿日直手当、救急医療体制等確保手当、救急呼出等待機手当、超過勤務手当、通勤手当等、賞与2回、					
10	身分	期間職員					
11	勤務時間	8:30-16:30、別途夜勤シフトあり					
12	社会保険	労働保険、健康保険、厚生年金保険、雇用保険を適用					
13	宿舍	病院敷地内に研修医宿舎駐車場完備					
14	専攻医室	専攻医専門の設備はないが、初期・後期研修医室あり(机、椅子、棚、ロッカー)					
15	健康管理	年2回、その他予防接種					
16	医師賠償責任保険	任意加入					
17	Off-JT	日本救急医学会総会及び関東地方会、日本臨床救急医学会、日本集中治療医学会など、各種関連諸学会における学術発表及び誌上発表を指導、BLS/ALS/JATEC/JPTECの受講・指導など					
18	週間スケジュール	月	火	水	木	金 土/日/祝祭日	
	AM	7:30朝カンファレンス 8:15Dr Heli プリーフィン グ/病棟回診/救急外 来対応 12:00ラ ンチカンファレンス	7:30朝カンファレンス 8:15Dr Heli プリーフィン グ/病棟回診/救急外 来対応 12:00ラ ンチカンファレンス	7:30朝カンファレンス 8:15Dr Heli プリーフィン グ/病棟回診/救急外 来対応 12:00ラ ンチカンファレンス	7:30朝カンファレンス 8:15Dr Car プリーフィン グ/病棟回診/救急外 来対応 12:00ラ ンチカンファレンス	7:30朝カンファレンス 8:15Dr Car プリーフィン グ/病棟回診/救急外 来対応 12:00ラ ンチカンファレンス	シフトによる日直・当直 制
	PM	13:00救急外来対応 16:00 Dr Heli デブリー フィング・イブニングラ ウンド	13:00救急外来対応 16:00 Dr Heli デブリー フィング・イブニングラ ウンド	13:00救急外来対応 16:00 Dr Heli デブリー フィング・イブニングラ ウンド	13:00救急外来対応 16:00 Dr Car デブ リーフィング・イブニン グランド	13:00救急外来対応 16:00 Dr Car デブリー フィング・イブニングラ ウンド	
当直	シフトによる当直・オンコール						

施設名:総合病院土浦協同病院・救急集中治療科

連携研修施設



茨城県南の救急医療を支える地域中核病院・三次救急医療機関として、すべての診療科・すべての重症度に対応する救急医療を行っています。重症救急患者の診療に当たっては、救急集中治療科が中心となり全診療科が結集し、非常に高度な救急医療を提供できる体制をとっています。また集中治療も非常に充実しており、重症患者の治療に大きな力を発揮しています。

土浦協同病院には非常に多岐にわたる救急患者が多数搬送されるため、様々な救急疾患の診療を経験することが可能です。さらに救急初期治療にとどまらず初期治療後の集中治療も引き続いて行い、重症患者の診療全般を経験することが可能です。また、麻酔科と非常に強い連携をとっており、重症患者の全身麻酔管理から術後管理まで一貫した重症患者管理を経験することも可能です。

2016年3月の新病院移転に伴い救命救急センターおよび重症救急部門の規模も非常に拡大し、急性期医療により特化した病院として活動を開始しています。救急専門医を目指すうえで経験すべき症例を多数経験できる施設となっています。(土浦協同病院救急集中治療科 荒木祐一)

1	救急科領域における病院機能	三次救急医療機関(救命救急センター)、小児救急医療拠点病院、茨城県地域災害拠点病院、DMAT指定医療機関、日本救急医学会認定施設					
2	指導者	松宮 直樹					
3	救急車搬送件数	約7,800台/年					
4	救急外来患者総数	約50,000名/年					
5	研修部門	救命救急センター、集中治療部(E-ICU,G-ICU)、手術室(手術麻酔)					
6	研修領域	重症救急医療	心肺蘇生	ショック			
		外傷診療	中毒診療	重症熱傷診療			
		重症患者に対する手術麻酔管理	救急医療におけるチーム医療	災害医療・病院前救急医療			
7	研修内容	救急患者外来対応、重症救急・集中治療、病院前救急医療、院内RapidResponseTeam、手術麻酔					
8	研修の管理体制	臨床研修委員会および臨床研修プログラム委員会による					
9	給与	基本給365,400円＋研究費165,100円/月(医師3年目の場合:年次昇給あり)					
10	身分	救急科医師					
11	勤務時間	8:00～17:00、別途準夜勤シフト、夜勤シフトあり					
12	社会保険	労働保険、健康保険、厚生年金保険、雇用保険を適用					
13	宿舍	なし(賃貸物件紹介あり)、住宅手当あり(月額上限あり)					
14	専攻医室	総合医局のため専攻医専用のスペースはないが、救急外来医師室に個人スペースあり(机、いす、棚、ロッカーなど)					
15	健康管理	年2回の健康診断、その他予防接種					
16	医師賠償責任保険	任意加入					
17	Off-Job Training	日本救急医学会総会および関東地方会、日本集中治療学会など各種関連諸学会における学術発表および論文投稿の指導、トレーニングラボにおける重症救急シミュレーションなど					
18	週間スケジュール	月	火	水	木	金 土/日/祝祭日	
	AM	8:00申し送り、ICU回診 9:00入院患者カンファレンス・ 外来患者レビュー 随時救急外来・病棟対応	7:30抄読会 8:00申し送り、ICU回診 9:00入院患者カンファレンス・ 外来患者レビュー 随時救急外来・病棟対応	7:30研修医カンファレンス・ 指導医レクチャー 8:00申し送り、ICU回診 9:00入院患者カンファレンス・ 外来患者レビュー 随時救急外来・病棟対応	8:00申し送り、ICU回診 9:00入院患者カンファレンス・ 外来患者レビュー 随時救急外来・病棟対応	8:00申し送り、ICU回診 9:00入院患者カンファレンス・ 外来患者レビュー 随時救急外来・病棟対応	
	PM					シフトによる日直・当直	
	当直	17:00カンファレンス	17:00カンファレンス	17:00カンファレンス	17:00カンファレンス	17:00カンファレンス	
		シフトによる準夜勤務・当直勤務 シフトによる準夜勤務・当直勤務 シフトによる準夜勤務・当直勤務 シフトによる準夜勤務・当直勤務 シフトによる準夜勤務・当直勤務					

施設名： 茨城県立中央病院

連携研修施設



指導医からのコメント
 当院は2次救急病院ですが、ほとんどの救急患者に対応しており、救急応需率は県内随一です。公立病院として、他病院では受け入れが困難な患者(精神疾患合併等)も、原則全例受け入れています。「どんな患者でも診られるようになりたい」という方にはうってつけの病院で、地域医療を経験した自治医大卒の医師が中心となって指導を行います。
 当院では、救急科は総合診療科と協力して入院後の診療も担当しており、救急外来から、入院後の管理(ICU管理を含む)、リハビリテーション、退院後の生活調整まで、幅広いマネージメントを経験することができます。どこに行っても役立つ経験ができます。
 平成26年度より、ドクターカー(ラピッドカー)運用を開始しており、病院前救護についても十分に学ぶことができます。福島・東海原発等を抱えた立地で、2次被ばく医療機関にも指定されており、緊急被ばく医療についても学ぶことができます。また、DMATは2チーム構成されており、国内外の各種災害での活動経験があるスタッフの元で、災害医療についても学べます。
 当院は水戸地区MC協議会に所属しており、メディカルコントロール協議会専門委員会への参加も必須とします。
 (茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 第三診療部長・救急科 総合診療科 部長 関 義元)

1	救急科領域における病院機能	二次救急医療機関・地域災害拠点病院・DMAT拠点病院・救急科専門医指定施設・集中治療専門医研修認定施設・二次被ばく医療機関					
2	指導者	関 義元、関根 良介、新堀 浩志					
3	救急車搬送件数	4448台/年(2014年度)					
4	救急外来患者総数	13280名/年(2014年度)					
5	研修部門	救急センター、ICU、HCU、救急一般病棟					
6	研修領域	救急外来における救急処置	救急におけるチーム医療	心肺蘇生・ショック			
		中毒(開業元:クリニカル・トキシコジスト認定あり)	重症集中治療	外傷初期診療			
		病院前救護	メディカルコントロール	災害医療・緊急被ばく医療			
7	研修内容	救急患者外来対応、重症集中治療、ドクターカー(ラピッドカー)での診療、院内Rapid Response Team(RRT)、地域MC協議会への参加、入院患者対応、他職種連携など。					
8	研修の管理体制	院内に設置された筑波大学附属病院・茨城県地域臨床教育センターの教育研修病院として、また県の中核病院として恵まれた医療設備、豊富な指導医、院内全体で専門研修を支える管理体制が整っています。					
9	給与	給与月額例 ・固定給部分(医籍登録3年目の固定給額)578,825円 ・変動給部分(医籍登録3～6年目の宿日直手当及び時間外勤務手当の合計額。但し、宿日直実施医師)136,750円～523,897円(平成27年5月支給分実績) ・通勤手当、家族手当、住居手当等は規程に基づき別途支給。					
10	身分	茨城県職員(地方公務員)					
11	勤務時間	8時30分～17時15分 月2-4回当直有り(個別の事情により免除可) 院内保育所あり(平日24時間 病児保育なし)お子さんが病気の時は無理せず休んで下さい。カバーします。) 子育てしながらの勤務も歓迎します。					
12	社会保険	地方職員共済組合					
13	宿舎	茨城県病院局代用公舎規程に基づき、借上げ民間アパートに入居可。(敷金、礼金、仲介手数料等は本県負担。利用料は2LDK例で3万円程度。)					
14	専攻医室	有					
15	健康管理	・定期健康診断 1回/年 ・電離放射線業務従事者検診 ・VDT作業従事者健康診断 ・HBs抗体 HCV抗体					
16	医師賠償責任保険	病院職員全体として加入済 他は任意加入					
17	Off-JT	ほとんどの講習会は受講可能。AHA BLS, ACLS, PALS, ACLS-EPプロバイダーコース、JATECコース(県内開催あり)及び緊急被ばく医療に関する講習会は、研修期間内に受講を推奨。ICLSコース、PTLS (Primary-care Trauma Life Support)コース(自施設開催)、院内CPR講習会での指導は必須。					
18	週間スケジュール	月	火	水	木	金	土/日/祝祭日
	AM	8:30 モーニングカンファランス	8:30 モーニングカンファランス	8:30 モーニングカンファランス	8:30 モーニングカンファランス	8:30 モーニングカンファランス	Off-JT(上記)
		9:30 入院患者合同カンファランス(総合診療科・神経内科)	救急ホットライン担当 ドクターカー担当 RRT担当・ICU担当	救急ホットライン担当 ドクターカー担当 RRT担当・ICU担当	救急ホットライン担当 ドクターカー担当 RRT担当・ICU担当	救急ホットライン担当 ドクターカー担当 RRT担当・ICU担当	9:30 入院患者総回診演等(総合診療科・神経内科)
	PM	14:00 Strokeカンファランス(脳神経外科・放射線科)	救急ホットライン担当 ドクターカー担当 RRT担当・ICU担当	救急ホットライン担当 ドクターカー担当 RRT担当・ICU担当	救急ホットライン担当 ドクターカー担当 RRT担当・ICU担当	救急ホットライン担当 ドクターカー担当 RRT担当・ICU担当	15:00 トリアージ検討会(院内 月1回)
17:15 夕回診		17:15 夕回診		17:15 夕回診	17:15 夕回診		
当直	19:00 水戸地区メディカルコントロール協議会(年2回+各専門部会年1-3回)	18:00 内科カンファランス(内科全体)	17:30 外来レビュー/ケースカンファランス(総合診療科・神経内科)	18:00 CPR講習会(月1回)・院内急変シミュレーション(2ヶ月に1回)	救急クラブ(年3回 消防職員も参加) Trauma board(月1回 院内外科系診療科)	月2-4回 日当直(平日・土日合わせて 内科・外科・ICU 当直のいずれか)	

施設名: 東京医科大学茨城医療センター

連携研修施設



指導医からのコメント 当院は、心筋梗塞や脳血管疾患、複数診療科にわたり高度な処置が必要な多発外傷、様々な原因による重篤な患者への対応も可能です。つまり、当院の救急体制は、初期(一次)～三次救急と独歩来院を包括して診療する北米型のシステムに近い形になっています。総合救急センター医師や時間外救急外来担当医師(当直医)が初期対応を行い、各診療科に患者を振り分け、専門的な治療が必要な場合は各診療科の専門医が担当することになり、その中で重症患者は集中治療室に入室させ集中治療部医師も加わっての治療となります。研修はクローズドICU業務とER型救急業務になりますが、ER型救急と集中治療を連携して行っているため、重症患者をレスポンスよくICUに収容し治療をスタートできています。その流れのなかで重症患者の病気の初期像から悪化・治療過程・手技全てを習得できる環境になっています。(柳田国夫)

1	救急科領域における病院機能	2次救急医療機関、日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設																												
2	指導者	柳田 国夫																												
3	救急車搬送件数	3800台/年																												
4	救急外来患者総数	10,100名/年																												
5	研修部門	総合救急センター、ICU																												
6	研修領域	① 重症集中治療 ② 重症救急患者への初期対応 ③ ERにおけるマネジメント ④ 整形外科的救急診療 ⑤ 脳卒中の初期対応 ⑥ 事故調査制度含む安全管理 ⑦ 救急におけるチーム医療																												
7	研修内容	救急患者外来対応、重症集中治療、臨床研究																												
8	研修の管理体制	後期臨床研修運営部会による																												
9	給与	研修手当:200,000円、宿日直手当、超過勤務手当、救急勤務医手当、文書手当、待機手当、呼出出勤手当																												
10	身分	後期研修医、臨床研究医																												
11	勤務時間	7:00～18:30、1直2勤務体制あり(週2コマ研究日)																												
12	社会保険	労災保険、健康保険、厚生年金保険、雇用保険 法令の定めにより加入																												
13	宿舎	あり(自己負担あり)																												
14	専攻医室	あり																												
15	健康管理	健康診断 年1回、各種予防接種																												
16	医師賠償責任保険	個人にて加入																												
17	Off-JT	日本救急医学会総会及び関東地方会、日本臨床救急医学会、日本集中治療医学会など、各種関連諸学会における学術発表及び誌上発表を指導																												
18	週間スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土/日/祝祭日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AM</td> <td>7:00 ICU打合せ 外科系カンファ 8:40 内科系カンファ9:00 ER 担当</td> <td>7:30 ICU打合せ 外科系カンファ 8:40 内科系カンファ9:00 ER 担当</td> <td>7:00 ICU打合せ 外科系カンファ 8:40 内科系カンファ9:00 ER 担当</td> <td>7:30 ICU打合せ 外科系カンファ 8:40 内科系カンファ9:00 ER 担当</td> <td>7:00 ICU打合せ 外科系カンファ 8:40 内科系カンファ9:00 ER 担当</td> <td>7:00 ICU打合せ8:30 職務終了</td> </tr> <tr> <td>PM</td> <td>17:00 カンファレンス18:00 ICU申送り</td> <td>17:00 カンファレンス18:00 ICU申送り</td> <td>14:00 NSTカンファ 17:00 カンファレンス18:00 ICU申送り</td> <td>17:00 カンファレンス18:00 ICU申送り</td> <td>17:00 カンファレンス18:00 ICU申送り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>当直</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ICU当直</td> <td>月1～2回の休日時間 外業務日あり</td> </tr> </tbody> </table>		月	火	水	木	金	土/日/祝祭日	AM	7:00 ICU打合せ 外科系カンファ 8:40 内科系カンファ9:00 ER 担当	7:30 ICU打合せ 外科系カンファ 8:40 内科系カンファ9:00 ER 担当	7:00 ICU打合せ 外科系カンファ 8:40 内科系カンファ9:00 ER 担当	7:30 ICU打合せ 外科系カンファ 8:40 内科系カンファ9:00 ER 担当	7:00 ICU打合せ 外科系カンファ 8:40 内科系カンファ9:00 ER 担当	7:00 ICU打合せ8:30 職務終了	PM	17:00 カンファレンス18:00 ICU申送り	17:00 カンファレンス18:00 ICU申送り	14:00 NSTカンファ 17:00 カンファレンス18:00 ICU申送り	17:00 カンファレンス18:00 ICU申送り	17:00 カンファレンス18:00 ICU申送り		当直					ICU当直	月1～2回の休日時間 外業務日あり
	月	火	水	木	金	土/日/祝祭日																								
AM	7:00 ICU打合せ 外科系カンファ 8:40 内科系カンファ9:00 ER 担当	7:30 ICU打合せ 外科系カンファ 8:40 内科系カンファ9:00 ER 担当	7:00 ICU打合せ 外科系カンファ 8:40 内科系カンファ9:00 ER 担当	7:30 ICU打合せ 外科系カンファ 8:40 内科系カンファ9:00 ER 担当	7:00 ICU打合せ 外科系カンファ 8:40 内科系カンファ9:00 ER 担当	7:00 ICU打合せ8:30 職務終了																								
PM	17:00 カンファレンス18:00 ICU申送り	17:00 カンファレンス18:00 ICU申送り	14:00 NSTカンファ 17:00 カンファレンス18:00 ICU申送り	17:00 カンファレンス18:00 ICU申送り	17:00 カンファレンス18:00 ICU申送り																									
当直					ICU当直	月1～2回の休日時間 外業務日あり																								

施設:なめがた地域総合病院

連携研修施設



救急医療は地域の患者は地域内で診療するのが原則であるが、医療資源に乏しい当地域では3次救急患者を域外に搬送することも多い。その中で救急告示病院、災害拠点病院の指定を受けている当院が、地域外の病院と連携しつつ救急診療をおこなっている。
日本の地方で多く行われているこのような救急システムを身を持って体験し、地域に貢献する生きがいを見つけてほしい。

(副院長、救急科 小山完二)

1	救急科領域における病院機能	救急科専門施設、2次救急医療機関、救急告示病院、災害拠点病院					
2	指導者	小山完二					
3	救急車搬送件数	1238台/年					
4	救急外来患者総数	4651名/年					
5	研修部門	救急外来、HCU					
6	研修領域	①外因性内因性疾患の救急診療 ②中毒、熱傷、多発外傷、ショック ③高齢者救急 ④災害医療					
7	研修内容	救急外来診療、入院診療、コードブルー対応					
8	研修の管理体制	臨床研修管理委員会					
9	給与	1年次35万円/月、2年次45万円/月(基本給+学習手当)+当直料					
10	身分	研修医					
11	勤務時間	8:30～17:00、別途夜間休日勤務あり					
12	社会保険	労働保険、健康保険、厚生年金保険、雇用保険					
13	宿舎	完備					
14	専攻医室	研修医室あり					
15	健康管理	年2回、その他予防接種					
16	医師賠償責任保険	任意加入					
17	Off-JT	日本救急医学会総会及び関東地方会、日本臨床救急医学会、茨城県救急医学会					
18	週間スケジュール	月	火	水	木	金	土/日/祝祭日
	AM		8:30 HCU申し送り	→	→	→	奇数週土曜はAM勤務あり
		10:00定時外来	→	→	→	→	
	PM	13:00カンファ					
		17:00病棟回診	→	→	→	→	
		AM・PMとも救急車対応	→	→	→	→	
	当直	休日を含め月4回当直あり					

施設名：筑波メディカルセンター病院

連携研修施設



当院は茨城県南西部を管轄する3次救命救急センターです。地方都市型救命救急センターとして初期から3次まで、独歩来院患者からドクターヘリまで対応する、全次型救急(ER体制)です。乗用車型ドクターカーを県内で初めて導入して病院前から治療を開始し、救急外来で初期治療で患者の安定化を図り、必要に応じて院内各専門診療科との密接な連携から迅速に治療を進めます。救命救急センターICUでの集中治療、更には一般病棟でも救急科病床を保有して回復期転院や自宅退院まで担当します。このように救急現場から社会復帰までシームレスな救急医療を経験できます。当院の救急医療はそのまま災害医療に発展可能であり、大規模地震災害、風害、水害と3回の自然災害においてDMAT参集拠点病院の任を果たしました。茨城の地域医療に貢献できる救急医をめざして、県内最多の専攻医指導医を有する当院で専門研修に励んでください。
(筑波メディカルセンター病院 河野元嗣)

1	救急科領域における病院機能	救急科専門医指定施設、指導医指定施設、救命救急センター、災害拠点病院																												
2	指導者	河野元嗣、阿竹茂、阿部智一、新井晶子																												
3	救急車搬送件数	4715台/年																												
4	救急外来患者総数	40751名/年																												
5	研修部門	救急外来、ICU、HCU																												
6	研修領域	① 重症集中治療 ② 心肺蘇生 ③ ショック ④ 外傷初期診療 ⑤ 重症患者に対する救急処置 ⑥ 災害医療 ⑦ 救急・集中治療における研究 ⑧ 救急におけるチーム医療																												
7	研修内容	救急患者外来対応、重症集中治療、院内rapid response team、臨床・基礎研究、																												
8	研修の管理体制	救急科領域専門研修管理委員会による																												
9	給与	基本給(例:3年目42万円)、別途 時間外手当、日当直手当、賞与、住宅手当、交通費支給																												
10	身分	専攻医、常勤正職員																												
11	勤務時間	8:30-17:30、別途夜勤シフトあり																												
12	社会保険	労働保険、健康保険、厚生年金保険、雇用保険を適用																												
13	宿舍	単身用のみ(家賃:15000円/月)																												
14	専攻医室	あり																												
15	健康管理	年2回、その他予防接種(麻疹風疹、耳下腺炎、B型肝炎、インフルエンザなど)																												
16	医師賠償責任保険	病院で加入しているが、個人の加入も推奨																												
17	Off-JT	日本救急医学会総会及び関東地方会、日本臨床救急医学会、日本集中治療医学会など、各種関連諸学会における学術発表及び誌上発表を指導。ICLS、JATEC等受講およびインストラクター取得を目標。研修医学術集会以て座長経験、研修医メディカルラーの運営。																												
18	週間スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土/日/祝祭日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AM</td> <td>8:00朝回診 救急外来 処置</td> <td>8:30 8:00朝回診 救急外来 処置</td> <td>8:30 8:00朝回診 救急外来 処置</td> <td>8:30 8:00朝回診 救急外来 処置</td> <td>8:30 8:00放射線カンファレンス 8:30朝回診 救急外来対応 9:30 病棟処置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PM</td> <td>13:00救急外来/病棟 16:00夕回診 1W18:00救急外来運 営部会</td> <td>13:00救急外来/病棟 14:00Utstein/交通事 故症例検討会 16:00 夕回診</td> <td>14:00多職種カンファレ ン ス 15:00抄 読会 16:00夕回診 4W18:00医局会 3W19:30公開カンファレ ン ス</td> <td>13:00救急外来/病棟 16:00夕回診 19:00研修医勉強会</td> <td>13:00救急外来/病棟 14:30ドクターカー/交通 事故症例検討会 16:00 夕回診</td> <td>シフト制による日直/準 夜/深夜勤務</td> </tr> <tr> <td>当直</td> <td colspan="6">シフト制による準夜/深夜勤務、オンコール</td> </tr> </tbody> </table>		月	火	水	木	金	土/日/祝祭日	AM	8:00朝回診 救急外来 処置	8:30 8:00朝回診 救急外来 処置	8:30 8:00朝回診 救急外来 処置	8:30 8:00朝回診 救急外来 処置	8:30 8:00放射線カンファレンス 8:30朝回診 救急外来対応 9:30 病棟処置		PM	13:00救急外来/病棟 16:00夕回診 1W18:00救急外来運 営部会	13:00救急外来/病棟 14:00Utstein/交通事 故症例検討会 16:00 夕回診	14:00多職種カンファレ ン ス 15:00抄 読会 16:00夕回診 4W18:00医局会 3W19:30公開カンファレ ン ス	13:00救急外来/病棟 16:00夕回診 19:00研修医勉強会	13:00救急外来/病棟 14:30ドクターカー/交通 事故症例検討会 16:00 夕回診	シフト制による日直/準 夜/深夜勤務	当直	シフト制による準夜/深夜勤務、オンコール					
	月	火	水	木	金	土/日/祝祭日																								
AM	8:00朝回診 救急外来 処置	8:30 8:00朝回診 救急外来 処置	8:30 8:00朝回診 救急外来 処置	8:30 8:00朝回診 救急外来 処置	8:30 8:00放射線カンファレンス 8:30朝回診 救急外来対応 9:30 病棟処置																									
PM	13:00救急外来/病棟 16:00夕回診 1W18:00救急外来運 営部会	13:00救急外来/病棟 14:00Utstein/交通事 故症例検討会 16:00 夕回診	14:00多職種カンファレ ン ス 15:00抄 読会 16:00夕回診 4W18:00医局会 3W19:30公開カンファレ ン ス	13:00救急外来/病棟 16:00夕回診 19:00研修医勉強会	13:00救急外来/病棟 14:30ドクターカー/交通 事故症例検討会 16:00 夕回診	シフト制による日直/準 夜/深夜勤務																								
当直	シフト制による準夜/深夜勤務、オンコール																													

施設名 茨城西南医療センター病院

連携研修施設



救急医学は医療の原点と言われています。しかし、今日の救急医療は高度に多様化し総合診療、災害医療、メディカルコントロール、外傷診療、集中治療、医療安全など細分化してきています。本院は救命救急センターを有しているためwalk-inから二次救急、三次救急と幅広く症例を経験でき、また入院後の重症患者の全身管理をICUにて行っています。また、茨城県内の各救急医療機関と連携し特色あるプログラムで、救急医療も経験できます。

1	救急科領域における病院機能	3次救急医療機関、救命救急センター、災害拠点病院																												
2	指導者	田中 幸太郎																												
3	救急車搬送件数	3,691件/年																												
4	救急外来患者総数	22,151名/年																												
5	研修部門	救急外来、ICU、CCU																												
6	研修領域	①重傷集中治療 ②心肺蘇生 ③ショック ④外傷初期診療 ⑤重症患者に対する救急処置 ⑥災害医療 ⑦救急・集中治療における研究 ⑧救急におけるチーム医療																												
7	研修内容	救急患者外来対応、重症集中治療																												
8	研修の管理体制																													
9	給与	348,600円＋研究手当149,100円(その他手当あり)(3年目の場合)																												
10	身分	後期研修医																												
11	勤務時間	8:30-17:00 別途オンコール・当直あり																												
12	社会保険	労働保険、健康保険、厚生年金保険、雇用保険																												
13	宿舎	応相談																												
14	専攻医室	専攻医専用の設備はないが、医局内に個人デスクあり(更衣室ロッカーあり)																												
15	健康管理	年1回健康診断、その他予防接種																												
16	医師賠償責任保険	任意加入																												
17	Off-JT	日本救急医学会総会及び関東地方会、日本臨床救急医学会、日本集中治療医学会など、各種関連諸学会における学術発表及び誌上発表を指導																												
18	週間スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土/日/祝祭日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AM</td> <td>8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド</td> <td>8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド</td> <td>8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド</td> <td>8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド</td> <td>8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド</td> <td>8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド</td> </tr> <tr> <td>PM</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>シフトによる半日直・オンコール</td> </tr> <tr> <td>当直</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>シフトによる当直・オンコール</td> </tr> </tbody> </table>		月	火	水	木	金	土/日/祝祭日	AM	8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド	8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド	8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド	8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド	8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド	8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド	PM						シフトによる半日直・オンコール	当直						シフトによる当直・オンコール
	月	火	水	木	金	土/日/祝祭日																								
AM	8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド	8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド	8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド	8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド	8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド	8:30申し送り/ICUラウンド カンファレンス・病棟ラウンド																								
PM						シフトによる半日直・オンコール																								
当直						シフトによる当直・オンコール																								

施設名:茨城県西部メディカルセンター		連携研修施設
		<p>指導医からコメント</p> <p>当院は、2018年10月に(旧)筑西市民病院と(旧)県西総合病院が統合され発足した新しい病院です。急性期医療、入院診療を重視し、地域で2次救急医療を完結することを重要な使命と位置づけています。救急科が設置され、重症患者を中心に入院が必要となる2次救急患者と、急性心筋梗塞、手術が必要な脳血管疾患、多発外傷、重度の熱傷などを除く、重症心不全、肺炎など、重症救急患者を、「断らない救急」をスローガンに受け入れています。</p> <p>救急科と院内各科とが協力し合い、救急担当医師が救急患者の初療を担当し、入院、手術等が必要であれば院内各科が担当するというER方式も取り入れ、救急科のスタッフだけでなく、病院全体で救急患者を診療する体制を構築しています。</p> <p>地域で唯一の災害拠点病院として、井水利用、非常用発電装置、屋上ヘリポート等の設備を有すると共に、DMAT体制の整備も進め、2019年6月現在、隊員数は9名ですが、更なる充実を図ります。</p> <p>なお、希望すれば同一法人が運営する「筑西診療所」において在宅診療も研修可能です。(文責:水谷太郎)</p>
1	救急科領域における病院機能	2次救急医療機関、災害拠点病院、地域中核病院
2	専攻医指導医	山下圭輔、水谷太郎
3	救急車搬送件数	2500台/年(見込)
4	研修部門	救急外来、HCU、一般病棟
5	研修領域	①救急外来診療 ②心肺蘇生 ③ショック ④救急医療におけるチーム医療 ⑤災害医療 ⑥地域メディカルコントロール ⑦重症集中治療 ⑧外傷診療 ⑨中毒診療
6	研修内容	救急患者外来対応、重症救急・集中治療、DMAT・災害医療訓練
7	研修の管理体制	教育研修委員会および臨床研修管理委員会が担当
8	給与	当院給与規定による(例:卒後3年目医師の場合、基本給548,000円、他に通勤手当・宿日直手当・時間外手当等支給)
9	身分	常勤医師(救急科)
10	勤務時間	8:15～17:30、月2～4回の当直あり、院内保育所・病児保育完備
11	社会保険	茨城県市町村職員共済組合
12	宿舍	住居手当支給
13	専攻医室	あり(医師室)
14	健康管理	年2回、各種予防接種
15	医師賠償責任保険	病院として団体加入、その他任意
16	Off-JT	日本救急医学会等における研究・発表の指導、AHA ACLS等、JATEC、JPTEC、MCLSなどの受講、疫学的研究に対する専門家による指導
17	週間スケジュール(例)	月 火 水 木 金 土/日/祝祭日
	AM	ER担当 HCU/病棟担当 ER担当 ER担当 HCU/病棟担当
	PM	17時:ERミーティング ER担当 HCU/病棟担当 17時:ERミーティング 17時:ERミーティング 17時:ERミーティング HCU/病棟担当 17時:ERミーティング
	当直	月2～3回担当

施設名 牛久愛和総合病院

連携研修施設



指導医からコメント
 当科は救急指導医1名、救急専門医1名の常勤医を中心に、その他非常勤救急医3名にて、昼夜を問わず「断らない救急」をモットーに診療に取り組んでおります。当院は県南地区の中心的基幹病院で、2次救急病院を標榜しておりますが、全スタッフが救命救急センターでの勤務経験者であり、その経験から、軽症の1次疾患から最重症の3次疾患に至るまで受け入れております。また各科が充実しているため、多彩な症例を経験出来ます。また、2019年5月に当科開設以降、救急車の搬送台数は急激に増加し、本年度は約3500台まで至っております。当院の研修においては、救急初期診療を行い、各専門科医師に引き継ぎ、入院管理を行います。重症救急疾患に関しては救急医療科医師が引き続き入院管理を行っており、重症集中治療についても研修が可能です。また、当科医師は内視鏡検査や治療、早期退院を目指した低侵襲手術（腹腔鏡、胸腔鏡手術）なども得意としており、外傷、気胸ならびに急性腹症などの手術対応も行っており、経験可能であります。さらに病院前救護体制の拡充を現在図っており、今後病院救急車の運用なども検討中であります。また、当院はDMAT指定病院であり、現在災害拠点病院に申請中で、災害医療にも力を入れていく予定であります。救急医療科は当院では最も新しい診療科で、今後益々中心的役割を担うものと考えます。恵まれた環境の中で、充実した研修ができるものと考えます。
 (牛久愛和総合病院 救急医療科 部長 佐藤孝幸)

1	救急科領域における病院機能	2次救急医療機関、DMAT指定医療機関、災害拠点病院（申請中）																												
2	専攻医指導医	佐藤 孝幸、出口 善純																												
3	救急車搬送件数	3,265件（2019年）																												
4	研修部門	救急外来（救急・外傷センター）、HCU、救急一般病棟																												
5	研修領域	①救急外来診療 ②心肺蘇生 ③重症集中治療 ④ ショック ⑤外傷初期診療 ⑥中毒診療 ⑦腹部救急診療 ⑧災害医療 ⑨ 救急・集中治療における研究																												
6	研修内容	救急患者外来診療、重症集中治療、内視鏡診察・治療など																												
7	研修の管理体制	臨床研修管理委員会																												
8	給与	月額固定給（1年次 500,000円、2年次 545,000円、3年次 590,000円） 別途;時間外手当、日当直手当、賞与、住宅補助																												
9	身分	常勤医師（救急医療科）																												
10	勤務時間	8:30～17:30、月2～4回程度の当直勤務あり。週1日研究日あり。																												
11	社会保険	健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険																												
12	宿舎	有 又は 借上社宅(引っ越し費用補助)																												
13	専攻医室	医局内に個人デスクを設置																												
14	健康管理	定期健康診断(2回/年)、各種予防接種																												
15	医師賠償責任保険	病院として団体加入、個人の加入は任意																												
16	Off-JT	日本救急医学会総会及び関東地方会、日本臨床救急医学会、日本外傷学会、各種関連諸学会における学術発表及び誌上発表の指導、ICLS、MCLS等プロバイダー取得、インストラクター取得を指導。																												
17	週間スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土/日/祝祭日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AM</td> <td>AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド</td> <td>AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド</td> <td>AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド</td> <td>AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド</td> <td>AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド</td> <td>AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド(土曜日のみ)</td> </tr> <tr> <td>PM</td> <td>16:30 イブニングカンファレンス</td> <td>16:30 イブニングカンファレンス</td> <td>16:30 イブニングカンファレンス</td> <td>手術・抄読会 16:30 イブニングカンファレンス</td> <td>16:30 イブニングカンファレンス</td> <td>16:30 イブニングカンファレンス(土曜日のみ)</td> </tr> <tr> <td>当直</td> <td>月1回稲敷MC検証会への出席</td> <td></td> <td>月2～4回の当直</td> <td></td> <td></td> <td>月1回程度の休日勤務</td> </tr> </tbody> </table>		月	火	水	木	金	土/日/祝祭日	AM	AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド	AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド	AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド	AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド	AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド	AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド(土曜日のみ)	PM	16:30 イブニングカンファレンス	16:30 イブニングカンファレンス	16:30 イブニングカンファレンス	手術・抄読会 16:30 イブニングカンファレンス	16:30 イブニングカンファレンス	16:30 イブニングカンファレンス(土曜日のみ)	当直	月1回稲敷MC検証会への出席		月2～4回の当直			月1回程度の休日勤務
		月	火	水	木	金	土/日/祝祭日																							
	AM	AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド	AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド	AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド	AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド	AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド	AM9:00カンファレンス・病棟ラウンド(土曜日のみ)																							
PM	16:30 イブニングカンファレンス	16:30 イブニングカンファレンス	16:30 イブニングカンファレンス	手術・抄読会 16:30 イブニングカンファレンス	16:30 イブニングカンファレンス	16:30 イブニングカンファレンス(土曜日のみ)																								
当直	月1回稲敷MC検証会への出席		月2～4回の当直			月1回程度の休日勤務																								

施設名: 設常陸大宮済生会病院

関連研修施



常陸大宮・大子地区には、二次医療機関がなく水戸地区の医療機関に依存していました。2006年に開院した当院は、救急医療体制の充実のために設立された病院です。検査科、放射線科の当直があり、24時間体制で、血液・尿検査、レントゲン、CT、MRI検査が可能です。内科、外科とも協力して初期治療後の集中治療も引き続いて行うことができます。

1	救急科領域における病院機能	二次医療機関				
2	指導者	小島 正幸				
3	救急車搬送件数	961台				
4	救急外来患者総数	3344名				
5	研修部門	救急外来、病棟				
6	研修領域	救急外来における救急処置	心肺蘇生・ショック	外傷初期治療		
		重症集中治療	中毒			
7	研修内容					
8	研修の管理体制	当院研修管理委員会による				
9	給与	卒後3年目 723,000円, 卒後4年目 739,000円, 宿日直手当, 呼出手当, 時間外手当, 通勤手当等				
10	身分	常勤				
11	勤務時間	8:30-17:15 当直 3 - 4 回/月				
12	社会保険					
13	宿舎	なし(賃貸物件紹介あり) 住宅手当あり(月額上限あり)				
14	専攻医室	あり				
15	健康管理	健康診断 年1回				
16	医師賠償責任保険	病院全体で				
17	Off-JT	BLS/ALS/JATEC/JPTecの受講				
18	週間スケジュール	月	火	水	木	金 土/日/祝祭日
	AM	8:00病棟カンファ 救急外来	8:00病棟カンファ 救急外来	8:00病棟カンファ 救急外来	8:00病棟カンファ 手術 外来	8:00病棟カンファ 病棟回診 内視鏡検査
	PM	手術/救急外来	内視鏡検査・処置 17:30多職種病棟 カンファレンス	手術/救急外来	手術/救急外来	救急外来
	当直	シフトによる当直・オンコール				

施設名:株式会社日立製作所ひたちなか総合病院

関連研修施設



指導医からのコメント

ひたちなか市は人口16万で茨城県4位、かつ県中北では希少な人口増加地域です。
 常陸太田ひたちなか医療圏は人口36万人が暮らしています。
 当院はこの地域の唯一の総合病院です。
 普段は年間2500台程度の救急車で、近隣の水戸地域などにお世話になっていますが、東日本大震災では、那珂川の橋が渡れなくなり、毎日50台の救急車を受け入れました。
 地域の中核病院の幅広い医療を経験してください。

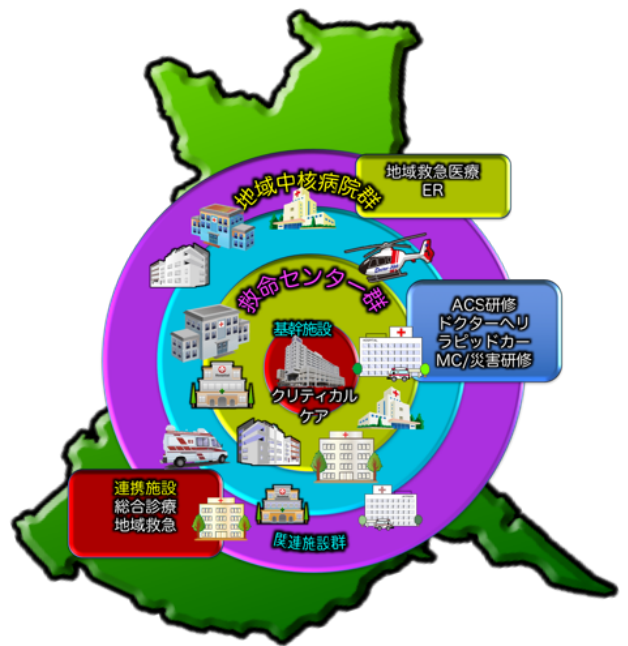
1	救急科領域における病院機能	災害拠点病院																												
2	指導者	山内 孝義																												
3	救急車搬送件数	2,680台 (2015年実績)																												
4	救急外来患者総数	6,323人 (2015年実績)																												
5	研修部門	救急外来、ICU、HCU																												
6	研修領域	<ul style="list-style-type: none"> ・重症集中治療 ・重症患者に対する救急処置 ・ショック ・心肺蘇生 ・重症救急患者への初期対応 ・外傷初期診療 ・救急におけるチーム医療 ・災害医療 ・救急、集中治療における研究 																												
7	研修内容	救急患者外来対応、重症集中治療																												
8	研修の管理体制																													
9	給与	月額手当：1年次 530,000円、2年次 538,000円、3年次 546,000円 (月額表示額は、45時間相当の時間外手当を含み時間外時間が45時間未満の場合も支給。時間外時間が45時間を越えた場合は、超過時間外手当を別途支給)																												
10	身分	常勤嘱託																												
11	勤務時間	8:15～16:30																												
12	社会保険	日立製作所健康保険組合、厚生年金保険、労災保険、雇用保険																												
13	宿舎	有 (有料) [賃貸住宅契約者は、住宅手当支給制度有り]																												
14	専攻医室	有り																												
15	健康管理	定期健康診断 (2回/年)、特殊健康診断 (2回/年)																												
16	医師賠償責任保険	病院として加入、専攻医が個人で加入する場合は自己負担																												
17	Off-JT	(案) 日本救急医学会総会及び関東地方会、日本臨床救急医学会、日本集中治療医学会など、各種関連諸学会における学術発表会及び誌上発表を指導																												
18	週間スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>月</td> <td>火</td> <td>水</td> <td>木</td> <td>金</td> <td>土/日/祝祭日</td> </tr> <tr> <td>AM</td> <td>ICU回診 HCU回診</td> <td>ICU回診 HCU回診</td> <td>ICU回診 HCU回診</td> <td>ICU回診 HCU回診</td> <td>ICU回診 HCU回診</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PM</td> <td>ICU回診 HCU回診</td> <td>ICU回診 HCU回診</td> <td>ICU回診 HCU回診</td> <td>ICU回診 HCU回診</td> <td>ICU回診 HCU回診</td> <td></td> </tr> <tr> <td>当直</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		月	火	水	木	金	土/日/祝祭日	AM	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診		PM	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診		当直						
		月	火	水	木	金	土/日/祝祭日																							
	AM	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診																								
PM	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診	ICU回診 HCU回診																									
当直																														

D. 研修プログラムの基本構成モジュール

本プログラムにおける基本モジュールは、基幹病院におけるクリティカルケア、チーム医療、ER/ICU/災害を科学する研究、国際医療連携、そして救命センター群における重症救急症例の病院前診療(ドクターヘリ/ドクターカー研修を含む)・初期診療・外傷診療、中核病院群におけるER・地域総合救急研修、及び関連施設における総合診療・地域救急研修から構成されます。

各基本モジュールの原則的な研修期間を示します。

36ヶ月	関連施設群 自由選択枠
30ヶ月	地域中核病院群
24ヶ月	救命センター群
18ヶ月	基幹施設
12ヶ月	
6ヶ月	



これらはあくまでも目安であり、研修の進行度及び経験症例のバランスなどから、施設における研修プログラム連携施設担当者と研修

プログラム統括責任者が細やかに評価して、自由選択期間を設けて施設選択を調整します。この間に、茨城県グローバル人材育成システムなどの補助を利用して海外研修申請も可能です。大学院への途中進学も基幹施設における研修期間を調整することにより専門医研修と同時並行して進めることが可能です。

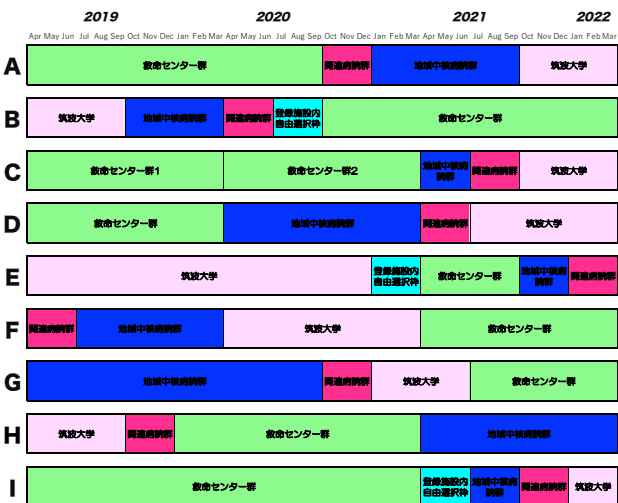
更に、本プログラムは茨城県就学生のキャリアパスと義務年限に完全に対応しております。従って、専門医研修と就業規定を合わせて進めることが可能になっています。

● 基幹施設	6-24 か月
● 救命救急センター群	12(6)-24 か月 (最大 2 施設)
● 地域中核病院群	3-15 ヶ月
● 関連病院群及び関連診療科研修	3 ヶ月



9. 研修施設群ローテーションの実際

ローテーションは、原則的に下記の条件を満たすように、専攻医の希望を優先して統括プログラム責任者及び当プログラム管理委員会と協議の上で決定します。



	1年次			2年次				3年次				
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
実研修例 1	県中循内	県立中央病院	日立総合病院	日立麻酔	筑波メディカルセンター	西部メディカル	筑波大 麻酔科	筑波大整形 外傷	筑波ICU			
実研修例 2	東京医大	筑波大学	水戸医療センター	自由選択	常陸大宮	土浦協同病院						
実研修例 3	筑波大学	西南医療センター	県立中央病院	西部メディカル	水戸医療センター							
実研修例 4	水戸医療センター	筑波大学	西部メディカル	土浦協同病院	県立中央病院	筑波大学						
実研修例 5	筑波大学	県立中央病院	常陸大宮	筑波メディカルセンター								
実研修例 6	筑波大学	県立中央病院	西南医療センター	ひたちなか	水戸医療センター							
実研修例 7	日立総合病院	筑波大学	筑波メディカルセンター*	水戸医療センター	常陸大宮	県立中央						
実研修例 8	水戸医療センター	日立総合病院	県立中央	常陸大宮	筑波大学							
実研修例 9	土浦協同病院	東京医大	筑波大学	日立総合病院	常陸大宮	日立総合病院						
実研修例 10	筑波メディカルセンター	西南医療センター	筑波大学	集中治療PG~ 麻酔科	筑波大学							
実研修例 11	筑波大学	水戸医療センター	*海外派遣	水戸医療センター	2019.7~*筑波大学; 集中治療PGにシフト							

- 基幹施設において少なくとも3-6ヶ月は研修を行う。
- 救命救急センター群において少なくとも6-12ヶ月は研修を行う。
- 地域中核病院群において少なくとも3ヶ月-6ヶ月は研修を行う。
- 関連施設群は3ヶ月の研修を必ず1施設で行う。
- 自由選択枠は、いずれのプログラムにも存在することとし、原則経験症例数を鑑みて、申請施設を統括プログラム責任者と協議の上で決定する。
- 自由選択枠は、希望する施設の延長に用いられる他、茨城県グローバル人材派遣事業などの支援を得て3ヶ月に限り海外研修に振り返ることができる。
- 大学院進学中の研修や産休・育休中はプログラムを最大限調整して並行した研修を可能になるように調整する。
- 茨城県就学生義務年限に合致させるように研修先を調整することも可能。

【指導者研修計画(FD)の実施記録】

専門研修基幹施設の研修プログラム管理委員会は専門研修プログラムの改善のために、各指導医の臨床研修指導医養成講習会もしくは日本救急医学会等の準備する指導医講習会への参加記録を保存する。

20. 専攻医の採用と修了

①選考方法

- 書類選考及び面接
- 応募を希望する者は、総合臨床教育センターに連絡の上、当院 HP (<http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/sotsugo/>) に掲載された下記の書類をダウンロード・記入の上、郵送又は持参すること。

- (1)願書(本学所定の用紙)
- (2)履歴書(本学所定の用紙 写真貼付)
- (3)初期臨床研修修了(見込)証明書
- (4)推薦状
(初期研修病院のプログラム責任者又は指導医からのもの):書式の指定なし)
- (5)返信用封筒(長 3 封筒に応募者本人の宛名を記入し 82 円分の切手を貼付)

② 応募資格

- 日本国の医師免許を有すること
- 臨床研修修了登録証を有すること(2018 年 3 月 31 日までに臨床研修修了見込みの者)

③ 応募締め切り; 2020 年 9 月 30 日(火)必着

(注;機構からの日程発表により前後することがあります。)

④ 修了要件

専門医認定の申請年度(専門研修 3 年終了時あるいはそれ以後)に、知識・技能・態度に関わる目標の達成度を総括的に評価し総合的に修了判定を行う。

⑤ 問い合わせ先および提出先:

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1
筑波大学病院総務部総務課(教育支援) 中山 美佳
TEL 029-853-3516/3523
FAX 029-853-3687
E-mail kensyu@un.tsukuba.ac.jp